



2026年4月13日

各位

会社名 フェスタリアホールディングス株式会社
代表名 代表取締役社長 貞松 隆 弥
(コード番号: 2736 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 常務取締役 姉川 清 司
電話番号 03-6633-9869

2026年8月期 第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月14日に公表した2026年8月期第2四半期（2025年9月1日～2026年2月28日）における連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期 第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 （2025年9月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当り 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,010	148	130	65	18.20
実績値(B)	4,976	60	61	47	13.16
増減額 (B-A)	△34	△88	△69	△18	
増減率(%)	△0.1	△40.5	△53.1	△27.7	
(ご参考) 前期同期実績 (2025年8月期中間期)	4,697	140	123	82	23.28

2. 差異及び修正の理由

(1) 中間連結会計期間

連結売上高につきましては、大型催事において天候不順の影響により来場者数が計画に届かず、売上が未達となったものの、ブライダル販売が大きく拡大したほか、定番商品や地金商品、EC 売上も堅調に推移したことから、概ね計画どおりの着地となりました。

利益面につきましては、金価格が期間平均で63.3%増加したことに加え、特にブライダル関連商品の素材となるプラチナ価格が期間平均で95.4%増加するなど、原材料価格の高騰が売上原価を押し上げたことにより、売上総利益率が低下しました。また、新基幹システム刷新に向けたDX推進に伴う先行投資の拡大等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも予想を下回りました。

(2) 通期

上述のとおり、上期においては、売上高は概ね計画どおりに推移したものの、想定を上回る地金価格の急激な高騰等により利益が圧迫されました。一方、3月以降は売上が前年および計画を上回って順調に推移していることから、下期以降は売上高の拡大および売上総利益率の改善により、収益性の回復を見込んでおります。

具体的には、4月に商品ラインナップの広範囲において価格改定を実施し、下期以降の売上総利益率の改善を図るとともに、「festaria」ブランド誕生20周年を契機としたキャンペーンや戦略的な催事の展開により、販売の維持・拡大に努めてまいります。併せて、高付加価値商品“Wish upon a star”を軸としたMDの再構築を進めるとともに、プロモーション施策の実効性向上を通じて、価格改定の影響を吸収しつつ、下期以降の収益拡大を図ってまいります。

さらに、SPAの強みを活かした機動的な価格戦略の実行に加え、サプライチェーンの見直しを通じて原材料調達から商品開発・製造・販売に至る一連のサイクルの高速化を図り、粗利マネジメントの高度化を推進してまいります。

また、3Dデジタルカスタマイズシステムの活用によるブライダル売上のさらなる拡大に加え、会員制度「festaria Members Club」を通じた顧客基盤の拡充やCRM施策の強化により、顧客体験の向上とLTVの最大化を目指してまいります。加えて、富裕層ビジネスの拡大およびEC事業の強化にも取り組み、顧客体験の向上を通じた売上拡大と顧客のファン化を推進してまいります。

これらの施策により、成長投資を継続しつつ収益性の改善を図り、下期における業績の挽回を進めてまいります。

以上を踏まえ、現時点における通期の連結業績予想につきましては、2025年10月14日に公表した内容から変更はありません。今後、消費環境の動向および第3四半期の業績を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以上